

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	設	神奈川近代文学館
指定管理者		公益財団法人神奈川文学振興会
指定期間		H23. 4. 1 ～ H28. 3. 31
施設所管課		文化課 ( )

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

展示会の入場者数が好調であった平成23年度に比べ、平成24年度は入場者数が平年並みにとどまり、全体の利用者数も目標値には若干及ばなかった。しかし、展示会関連行事を積極的に開催するとともに、教育機関との連携行事や邦楽など文学以外のジャンルとのコラボレーションによる行事にも取り組み、多くの行事参加者を集めるなど一定の事業成果が得られている。

また、経費節減の取組み（LED照明の導入、広報費の節減など）や収支状況、施設の維持運営・保全に関しては特段問題がないことから、B判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月9日	/	○	○	○	無	「島崎藤村展」、閲覧室の展覧会関連図書コーナーをモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
11月	12月9日	/	○	○	○	無	「島崎藤村展」、閲覧室の展覧会関連図書コーナーを再度モニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
12月	1月8日	/	○	○	○	無	「福田恆存資料展」、「2012 新収蔵資料展」、「文学の森へ 第3部」、芥川龍之介生誕120年記念イベント「蓄音機、SPレコーダーで聴くー芥川龍之介が愛でた音楽たち」をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
1月	2月8日	/	○	○	○	無	「福田恆存資料展」、「新収蔵資料展」、「文学の森へ 第1部」、芥川龍之介生誕120年記念イベント「芥川龍之介の一中節ー知られざる名曲『恋路の八景』」をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
2月	3月8日	/	○	○	○	無	「福田恆存資料展」「新収蔵資料展」、「文学の森へ 第1部」、閲覧室の展覧会関連図書コーナーをモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
3月	4月10日	/	○	○	○	無	「添田啞蟬坊・知道展」、「文学の森へ 第2部」、閲覧室の展覧会関連図書コーナーをモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。

### 3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	<p>・より多くの来館者を獲得するために、様々なニーズに応じた展示を企画、開催する。            (集客を目指す展示、独創性のある展示、外に広がる展示など)            ・館所蔵、新収蔵資料を柱に構成した展覧会も積極的に開催する。</p> <p>[参考]            特別展：毎年2つの展示室で開催する大規模な展覧会。            年2～3回(春と秋)開催。            企画展：常設展「文学の森へ」と同時開催する展覧会。            展覧会ごとに新たな企画として開催する中規模の展覧会。</p>	<p>10月～11月 特別展「島崎藤村展」を開催            入場者数 7,162人</p> <p>11月～1月 「福田恆存資料展」            「2012 新収蔵資料展」            常設展「文学の森へ 第3部」を開催            入場者数 1,038人</p> <p>1月～2月 「福田恆存資料展」            「2012 新収蔵資料展」            常設展「文学の森へ 第1部」を開催            入場者数 1,581人</p> <p>3月 企画展「添田啞蟬坊・知道展」            常設展「文学の森へ 第2部」を開催            入場者数 1,331人</p>
2	<p>・特別展や企画展と連携した講演会、朗読会、講座、映画会などの企画を開催し、利用者のニーズに応える。</p>	<p>(講演会、講座、朗読会など)</p> <p>10月            文芸映画を観る会：「夜明け前」            「島崎藤村展」記念朗読会：「ある女の生涯」            「島崎藤村展」記念講座：「夜明け前」            「島崎藤村展」ギャラリートーク 他</p> <p>11月            「島崎藤村展」講演会            ・言葉の『継立て』－藤村の散文をめぐって            「島崎藤村展」記念講座：「家」            「島崎藤村展」ギャラリートーク 他</p> <p>12月            芥川龍之介生誕120年記念イベント            ・蓄音機、SPレコードで聴く－芥川龍之介が愛でた音楽たち</p> <p>1月            芥川龍之介生誕120年記念イベント            ・芥川龍之介の一中節－知られざる名曲「恋路の八景」</p> <p>2月            芥川龍之介生誕120年記念イベント            ・文芸映画を観る会：「トロッコ」</p> <p>3月            「添田啞蟬坊・知道展」記念講演会            ・トーク&amp;ライブコンサート～明治・大正演歌の魅力            かなぶんキッズクラブ(紙芝居がはじまるよ!)            ・「三つのたから」ほか            かなぶんキッズクラブ(春休み子ども映画会)            ・「じごくのそうべえ」「7ひきの子やぎ」ほか            「添田啞蟬坊・知道展」ギャラリートーク 他</p> <p>(パネル展)</p> <p>10月～11月            「夏目漱石」(県立横須賀高等学校)            「中島敦」(県立大船高等学校)</p> <p>11月            「夏目漱石」(県立三浦臨海高等学校)</p> <p>11月～12月            「中島敦」(県立横浜修悠館高等学校)</p> <p>12月～1月            「中島敦」(県立逗子高等学校)</p>

	提案内容	実施状況
3	・インターネットによる所蔵資料情報の公開を進める。	近代文学館のホームページで実施 ホームページアクセス件数 94,330件 (うち蔵書アクセス件数 34,387件)
4	・専門館として文学のレファレンスにきめ細かく対応する。  〔参考〕 レファレンス：文学に関する情報や資料の各種問合せに対し、仲介的な立場から援助するサービス。 利用案内、資料提供なども含む。専門的な質問も多く、公共図書館等他施設から照会もある。	レファレンス件数 224件

#### 4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		401,259	7,786	5,608	414,653	414,653	0
予算額	前年度	391,896	8,774	6,834	407,504	407,504	0
	上半期	176,731	4,392	3,579	184,702	184,702	0
	下半期	215,165	4,382	3,255	222,802	222,802	0
	今年度	392,784	8,824	6,279	407,887	407,887	0 ①
	上半期	176,681	4,442	3,610	184,733	184,733	0
	下半期	216,103	4,382	2,669	223,154	223,154	0
下半期実績額	10月	30,895	1,013	1,468	33,376	32,907	469
	11月	28,728	1,115	791	30,634	26,561	4,073
	12月	50,499	453	70	51,022	46,148	4,874
	1月	25,826	362	133	26,321	27,078	▲ 757
	2月	30,268	376	105	30,749	29,213	1,536
	3月	49,887	498	291	50,676	72,917	▲ 22,241
	今年度 下半期合計	216,103	3,817	2,858	222,778	234,824	▲ 12,046 ②
	前年度 下半期合計	215,165	4,524	1,941	221,630	242,314	▲ 20,684
	対前年度下半期比			③	0.5%	-3.1%	
参考	今年度 上半期合計	176,681	5,075	3,263	185,019	172,974	12,045
	今年度 合計	392,784	8,892	6,121	407,797	407,798	▲ 1

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		今年度上半期合計「その他収入」について、4月分及び7月分の計数の訂正があり、上半期モニタリング報告（3,191千円）と比べて72千円増となっている。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	8,536	神奈川近代文学館直流電源装置（非常照明用）バッテリー交換工事
合計	8,536	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

## 5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	5,142 人	6,378 人	▲ 19.4 %
11月	6,401 人	5,564 人	15.0 %
12月	3,810 人	2,722 人	40.0 %
1月	3,292 人	3,040 人	8.3 %
2月	2,919 人	5,661 人	▲ 48.4 %
3月	3,226 人	2,351 人	37.2 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	57,900 人	30,374 人	45,513 人	▲ 47.6 %	▲ 33.3 %
今年度下半期計		24,790 人	25,716 人	%	▲ 3.7 %
今年度合計	57,900 人	55,164 人	71,229 人	▲ 4.8 %	▲ 22.6 %

### 利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	<p>※年間目標利用者数の設定となっているため、下半期利用者数との比較はできないが、年間を通してみると、目標利用者数を若干下回った。</p> <p>これは、主に夏場の集客がやや伸び悩んだことによるものである。</p> <p>&lt;対応策&gt;</p> <p>これまで夏場を実施している若年層向けのイベントとして新たに版画や絵本製作のワークショップを実施するなど充実を図り、館の魅力のPRに努めるとともに、本県ゆかりの文豪の展覧会など当館ならではの展覧会と、集客力のある知名度の高い作家の展覧会をうまく組み合わせ開催し、広報活動に力を入れることで、利用者数の増加につながるよう努めていく。</p>
③ その他特記事項		今年度上半期計「利用者数」について、9月分の計数の訂正があり、上半期モニタリング報告（30,373人）と比べて1人増となっている。

## 6 苦情・要望等の状況

### 受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	71 ( 0 )	72 ( 0 )

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	94 ( 0 )	95 ( 0 )

## 7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	添田展とても興味深いので、もっと音がたくさん聴けるとよかったです。	エントランスの大型映像モニターで、添田の音楽を中心とした番組を放映。
	展示作品の解説等のためのタブレット端末機の貸出をお願いしたい。	常設展示音声ガイドを導入。希望者にタブレット端末機 (iPod) の貸出を実施。
職員対応	展示室内で、大きな声で話をする人が多く、気が散って不愉快。注意して欲しい。	以前より、随時巡回等により、適切な対応が図れるよう配慮している。
事業内容	館所蔵の未公開資料の公開手続きについて、館の規程、運用方法に疑問がある。	著作権上の観点から館の規程の合理性を説明してご理解をいただいた。
	ミュージアムグッズはもっと充実してほしい	開館30周年に向けて、企画立案中。
その他	県の予算削減傾向にある中、絶対になくさないでください	県緊急財政対策に関するアンケートを収集し、所管課に提出した。
	J R・私鉄の駅に貴館の催しのパンフ等を置いて下さい。新聞等かなり注意していないとわからない事が多い	元町・中華街駅舎内掲示板に館のポスターなどを掲示していただけるスペースを確保できた。

## 8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

## 9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
( )		
( )		
( )		

## 10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

(事業について)

○下半期に開催した各展覧会の入場者数は、秋の特別展「島崎藤村展」は7,162人、冬場に開催した「福田恆存収蔵資料展」は2,619人、3月開催の企画展「添田啞蟬坊・知道展」は1,331人と、前年度下半期と比べて若干下回ったもののほぼ同程度の入場者数を維持した。それに伴い、利用料金収入も前年度を下回ったが、上半期が順調に推移したことから年度合計ではほぼ予算どおりの収入額を確保している。

事業内容については、「島崎藤村展」は藤村生誕140年を記念し、藤村の出身校(明治学院)や藤村記念館など関連施設との連携を図り、また「福田恆存収蔵資料展」及び「添田啞蟬坊・知道展」は神奈川近代文学館に寄贈された貴重資料を活用するなど、いずれも同館ならではの展示会が開催されている。

また、講演会など関連行事については、年間で88回開催し、特に下半期は邦楽と近代文学との関わりに着目した企画等を織り交ぜながら新たな客層の開拓に取り組んだ結果、延べ6,222人の参加者数を記録するなど、来館者数の増加に努めている。

なお、国の「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用し、展示室入口のマルチビジョン映像の更新、展示情報の音声ガイドシステムの導入、神奈川近代文学館が所蔵する夏目漱石資料の画像アーカイヴの構築を行い、利用者の利便性ととも同館の魅力の向上に努めている。

(運営管理について)

○上半期に引き続き、来館者の要望や意見に対して丁寧に対応しており、概ね良好になされている。また、交通機関との連携による低価格で駅等へのポスター掲出や、館内のLED照明の導入など、経費節減の取組みに努めている。

(次年度以降の改善策等)

●来年度は、特に若年層の入場者数の増加に努めるとともに、講談や邦楽など他のジャンルとのコラボレーションによる関連行事の企画・開催のほか、県内中学、高校、大学など教育機関との連携を充実させて、さらなる文学館の活性化に向けて貢献していただきたい。

また、収入面では、事業収入の安定的な確保のため、事業収入の大きな柱である展示会解説図録の販売収入増加に向けて、利用者のニーズに対応した図録作成の工夫を図るなどの努力をされたい。